

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	入院患者の履物と転倒の関連を分析する
研究責任者	医療安全推進室 副室長/看護師長 長内 佐斗子
研究機関名	日本赤十字社医療センター 医療安全推進室
研究目的と意義	<p>入院中に転倒した患者の履物を調査したところ、スリッパを履いている患者が多かった。また、先行研究でも、80歳以上の患者とスリッパ着用患者で転倒が高頻度であったことが報告されている。しかし、全入院患者における履物の割合と、転倒患者の履物を比較検討した研究はない。そのため、入院患者の履物の全数調査を行い、スリッパを履いている入院患者が、他の履物を履いている患者より転倒率が高いかを明らかにする。</p>
研究方法	<p><b>対象</b> 2019年1月から7月までの期間で一般病棟に入院している18歳以上の成人患者の履物を調査する。除外基準は運動機能的に歩行できない人とする。</p> <p><b>調査方法</b> ① 調査期間に一般病棟に入院している患者に研究者が個別訪問し、履物を調査する。年齢・性別を電子カルテより収集する。 ② 調査期間の転倒患者の履物を事故報告システムより調査する。</p> <p><b>研究に使用する情報</b> 履物の種類、年齢、性別</p> <p><b>個人情報の取り扱い</b> 個人情報はすべて匿名化し、個人を特定できないようにし統計分析を行う。 対象者の履物の調査のため、対象者への身体的な侵襲・危険性は生じない。</p> <p>研究に組み入れられることを希望されない場合は、その場でご希望されるか、または下記の問い合わせ先にお知らせください。なお、希望されない場合でも、診療上不利益を生じることはない。</p> <p><b>本研究による臨床的な貢献</b> 本研究の成果として、履物と転倒の関連が明らかとなり、転倒予防への示唆が得られる。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：長内 佐斗子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>